



## ※今後の受講にあたっての注意事項※

### 【 休学・復学について 】

8 期生の方が一旦休学され、その後、復学により 9 期生として受講を再開された場合、新しいカリキュラムでの受講となります。従って 8 期生として履修されたスクーリングおよび提出された課題レポートは無効となりますので、9 期生として全てを受けなおしていただく必要がございます。これは、旧カリキュラムと新カリキュラムでは整合性をとることが難しく、新カリキュラムへ引き継ぐことができないためです。ご了承ください。なお、追加費用については休学・復学の場合はかかりません。復学後は 9 期生用の学習要項などをお送りいたします。

メリット	デメリット
・追加費用がかからない。	・新カリキュラムで受講をし直す必要がある。 ・期間延長のため卒業が 1 年遅れる。

### 【 再履修について 】

- 課題レポートについては特に変更点はございません。1 年次(1~2 学期)レポートの再履修は手続きを 4 月末までに行い、7 月末までにレポートを提出してください。2 年次(3~4 学期)レポートの再履修は手続きを 9 月末までに行い、12 月 15 日までにレポートを提出してください。課題テーマは 8 期生のもので作成してください。なお、再履修料は 1 課題につき 15,000 円です。
- スクーリングの再履修は旧カリキュラムとして行います。新カリキュラムである 9 期生のスクーリングにはご参加いただけません。また、再履修の対象者の人数に限られることが予想されますので、名古屋会場でのみ第 1 回および第 2 回スクーリング科目をまとめた集中日程として行う予定です。詳しい日程が決まり次第、追ってお知らせいたします。再履修が必要な方には申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。なお、再履修料は 1 時間につき 2,000 円(1 日 6 時間単位)です。再履修スクーリングを欠席された場合は、休学・復学が必要となりますのでご注意ください。

メリット	デメリット
・8 期生として現行のカリキュラムのまま受講を続けることができる。	・追加費用である再履修料が必要となる。 ・スクーリングの遠方参加に負担がかかる。

### 【 実習について 】

実習については旧カリキュラムでの時間数は 90 時間(約 2 週間)ですが、新カリキュラムでは 180 時間(約 4 週間)と大幅に増加しております。実習が必要な方は、できるだけ 8 期生の間に実習を終えられることをお勧めいたします。なお、9 期生に復学された場合でも実習料を追加でお支払いいただく必要はございません。

### 【 2 年次スクーリングについて 】

今回ご案内させていただきました第 3 回スクーリングおよび夏季開催予定の第 4 回スクーリングを欠席した場合は、カリキュラムの修了時期の関係上、再履修をすることはできません。従って必然的に休学・復学の手続きをとっていただくこととなりますので、できるだけ規定の日程でご参加くださいますようお願いいたします。本来の会場の日程がご都合が悪い場合は、会場変更の手続きを行い、別会場にてご参加いただくことをお勧めいたします。

※上記の点を充分にご理解いただいた上で、休学または再履修などの手続きをお取りください。